

令和4年度 学校法人星置学園 いなほガーデン星の子幼稚園
学校関係者評価

2023年3月

1、本園の教育理念・目標

評価者 酒井義信

《教育理念》

元気な子 元気で明るく、たくましく、生き生き活動できる子
つよい子 やさしい心を持ち、はい、ありがとう、すみません、わたしがしますと言える心のつよい子
創造する子 よく見、よく聞き、よく話し、個性豊かにのびのび表現、創造する子

《教育目標》

- ・あらゆる環境に能動的に働きかける事ができる心と体を育てる。
- ・集団生活を通し、他者の自由を認める事ができる心を育てる。
- ・自己目標に向かっていける心を育て、自己肯定感を育てる。
- ・リスクという危険を体験し、危険予知能力を高める。

2、本年度、重点的に取り組む課題

1年を通して、一人一人の遊びを探求し、環境を整え発展させる。

3、評価項目の達成及び取組状況

【評価基準】

- A 十分達成されている(おおむね80%以上)
- B ほぼ達成されている(60%~80%くらい)
- C 取り組まれているが成果が十分でない(40%~60%くらい)
- D 取組が不十分である(40%以下)

評価項目	結果	理由
園の保育を理解し、職員が仕事をしやすいように心がけている	A	遊びコーナーによる「遊び中心の保育」が定着し、子どもたちは主体的に楽しそうに仲良く活動しています。担任、副担任の連携・協力がなされており、チームとしての環境構成、活動の工夫、援助が適切に行われた結果だと思えます。
保護者のニーズと把握に努め、要望や苦情に適切な対応をはかる	B	保護者アンケートでは、保育に満足しているとの回答が非常に多かったです。これで十分ということはないので、保護者への情報提供や細やかな対応に努めていただきたい。
職務向上の為に必要なスキルを身につけ向上している	A	「自ら遊びを作り出す楽しさを味わい、幼稚園生活を楽しんでいる」「様々な物事に興味関心を示し、知的好奇心や思考力、感動する心などが育って来ている」等の保護者回答が多いことから、先生方が園内研修をはじめ多くの研修に積極的に参加し、日々の保育実践の向上に努めている結果だと思えます。今後も自己研鑽、園内外の研修に取り組んでいただきたい。

評価項目	結果	理由
事務以外の職務に対しても積極的に動き、よりよい環境をつくる	A	保育では、教師が子どもの活動を観察し、それに対応するチームとして環境構成や援助が求められます。今後も協力的な教師集団を維持するために、コミュニケーションを大切にして、人的、物的共により良い環境をつくっていただきたい。
安全管理（施設、設備、通園など）を日々行っていたか？	A	園舎の改修が行われ教室がオープンになり明るくなりました。また、いつも清潔感にあふれる園内環境が維持されており、先生方はじめ職員の努力の成果だと思えます。大きな怪我がなく安全に配慮した保育が行われていました。今後も整頓された環境と安全の維持を望みます。

4、2022年度の感想など

運営学園が変わり、保育の変革が行われ3年が経ちました。遊び中心の保育が定着し、子どもたちは楽しそうに主体的に活動しています。先生方はコロナ禍で保育活動が大変だったことと思いますが、そのような状況下でも、子どもが個性を發揮し、遊びや集団での活動に意欲的に取り組んでいたことは評価されます。

5、2023年度への要望など

コロナ禍が落ち着き始めています。保育では、戸外での活動を増やして、豊かな自然や地域社会とかかわる経験を増やしていただきたいと思えます。また、保護者アンケートに「保護者同士の交流の機会を増やしてほしい」という意見がありましたので、保護者同士、子ども・保護者参加のクラス行事の機会増について検討を望みます。教師集団による協力体制が、子どもと保護者が満足する質の高い保育には不可欠だと考えますので、今後も園の良さである協働体制をこのまま大切にしていきたい。

☆学校関係者評価を踏まえ2023年度について☆

3年間のコロナ禍によっていろいろな交流がなくなってしまいました。

来年度は、幼稚園・保育園・小学校との交流、お祭りなどを通しての地域社会との交流を取り組んでいく予定です。

保護者のみなさまとは話し合いのうえ交流の方法を考えていきたいと思えます。

いなほガーデン星の子幼稚園 園長 上村百合子